

希望を胸に大人としての 一歩を踏み出す

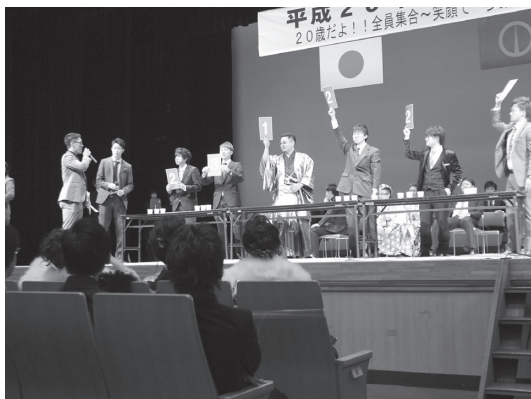
平成28年登別市成人祭



▲「二十歳の誓い」を述べる新成人代表



▲生まれ育ったまちへの思いを込めて市民憲章唱和



▲卒業中学校対抗のゲームで盛り上がる会場



▲久しぶりの再会に笑顔を見せる新成人

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード



1月10日(日)、市民会館で「平成28年登別市成人祭」(市教育委員会・同実行委員会主催)を開催しました。ことしの新成人は平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた男性346人と女性248人の計594人。成人祭には、このうち、男女合わせて340人が出席し、振り袖や袴、スーツ姿の新成人で会場はにぎわいを見せ、華やかな雰囲気にも包まれました。

式典では、新成人代表の山下徹さんと島村希望さんが、家族への感謝の思いや夢の実現に向けて勇気をもって何事にも挑戦していくことなど、今後の決意を述べました。

また、同実行委員会主催の第2部のアトラクションでは、中学校時代の先生からのビデオレター上映や卒業中学校対抗のゲーム、お楽しみ抽選会などが行われ、会場は盛り上がりを見せました。

新成人たちは、久しぶりに再会した友人と談笑したり、互いの成長を喜び合ったりしながら、大人としての自覚と責任を胸に、晴れ晴れとした門出を迎えました。

内モンゴルの文化に興味津々

第4回国際理解講座

12月18日(金)、市民会館で、室蘭工業大学で学ぶ中国・内モンゴル自治区からの留学生、潮洛蒙さん、温都日格さん、国慶さんを講師に招き「第4回国際理解講座」(市主催)を開催しました。

同講座では、潮洛蒙さんから出身地の言語や食文化、教育などが紹介されたほか、温都日格さんによるモンゴルの弦楽器「馬頭琴」の演奏と国慶さんの歌も披露され、参加者から大きな拍手が贈られました。さらに、モンゴル民族の踊りを見たいというリクエストに応え、温都日格さんが素晴らしい踊りを披露してくれました。参加者は「お話を聞いているうちに内モンゴルに興味が湧きました。演奏や踊りも素晴らしく、とても楽しい時間を過ごせました」と話していました。



▼馬頭琴の演奏にあわせ、歌を披露。美しい音色が会場に響きわたった

▲参加者からの質問に丁寧に答える潮洛蒙さん

